

人権・青少年健全育成合同大会

11月30日（土）、神河町グリンデルホールにて、人権・青少年健全育成合同大会が開催されました。本校からは、3年生の小林芹愛さんが「夢への努力が気付かせてくれたこと」と題して主張を行いました。歯の治療を嫌がっていた弟に付き添った際の歯科衛生士さんの優しい声かけで、弟が笑顔を見せた、という経験から歯科衛生士を目指す決心をしたことを述べました。

その後、何気なく引き受けた生徒会役員ではあったものの、地域活動などの経験を通して、素直な思いを相手に伝えることの大切さを学んだことを述べ、あの時の歯科衛生士さんの励ましの言葉が進路選択の決め手になった、と述べて締めくくりました。

町内の各学校の「子どもたちの主張」の発表が終わった後、「子どもたちの笑顔を守るために私たちにできること」という演題で島田妙子さんの講演がありました。島田さんは、「児童虐待の予防」をテーマに、執筆や講演活動を積極的に行われています。家庭内での虐待や児童養護施設での生活の経験を中心に、ありのままに率直に話されました。どうすれば怒りの感情を抑えられるかという対処法も伝授されました。

